

ド・モアブルの定理

$$(\cos \theta + i \sin \theta)^n = \cos n\theta + i \sin n\theta \quad (n \text{ は整数})$$

証明

n は整数ですから、数学的帰納法で証明します。

整数は自然数と違い、正の方向に無限に大きくなっていくのみならず、負の方向に無限に小さくなっていきますので、これらの場合分けして証明しなければなりません。

そこで、まず $0 \leq n$ の整数についてド・モアブルの定理が成り立つことを数学的帰納法により証明します。

(i)

$n = 0$ のとき

$$\text{左辺} = (\cos \theta + i \sin \theta)^0 = 1, \quad \text{右辺} = \cos 0 + i \sin 0 = 1 \text{ より成立}$$

(ii)

$n = k$ のとき $(\cos \theta + i \sin \theta)^k = \cos k\theta + i \sin k\theta$ が成り立つとすると、

$n = k + 1$ のとき

$$\begin{aligned} (\cos \theta + i \sin \theta)^{k+1} &= (\cos \theta + i \sin \theta)^k (\cos \theta + i \sin \theta) \\ &= (\cos k\theta + i \sin k\theta)(\cos \theta + i \sin \theta) \\ &= (\cos k\theta \cos \theta - \sin k\theta \sin \theta) + i(\cos k\theta \sin \theta + \sin k\theta \cos \theta) \\ &= \cos(k\theta + \theta) + i \sin(k\theta + \theta) \\ &= \cos(k+1)\theta + i \sin(k+1)\theta \end{aligned}$$

より、 $n = k + 1$ のときも成り立つ。

よって、(i) と (ii) を合わせると、

$0 \leq n$ の整数についてド・モアブルの定理が成り立つ。

続いて、この結果を利用し、 $n < 0$ のときも成り立つことを示します。

$n < 0$ のとき、 $n = -m$ とおくと、

$$\begin{aligned} (\cos \theta + i \sin \theta)^n &= (\cos \theta + i \sin \theta)^{-m} \\ &= \frac{1}{(\cos \theta + i \sin \theta)^m} \\ &= \frac{1}{\cos m\theta + i \sin m\theta} \quad (\because 0 < m) \\ &= \frac{1}{\cos m\theta + i \sin m\theta} \frac{\cos m\theta - i \sin m\theta}{\cos m\theta - i \sin m\theta} \\ &= \frac{\cos m\theta - i \sin m\theta}{\cos^2 m\theta + \sin^2 m\theta} \\ &= \cos m\theta - i \sin m\theta \\ &= \cos(-n\theta) - i \sin(-n\theta) \\ &= \cos n\theta + i \sin n\theta \end{aligned}$$

となり、 $n < 0$ のときも成り立つ。

以上より、すべての整数についてド・モアブルの定理が成り立つ。

応用例

$\alpha = \frac{\sqrt{3}+i}{2}$ のとき、 α^{100} の値をもとめる場合、

$$\begin{aligned}\alpha &= \frac{\sqrt{3}+i}{2} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2}i \\ &= \cos \frac{\pi}{6} + i \sin \frac{\pi}{6}\end{aligned}$$

より、

$$\begin{aligned}\alpha^{100} &= \left(\cos \frac{\pi}{6} + i \sin \frac{\pi}{6} \right)^{100} \\ &= \cos \frac{100}{6} \pi + i \sin \frac{100}{6} \pi \\ &= \cos \frac{50}{3} \pi + i \sin \frac{50}{3} \pi \\ &= \cos \frac{2 \cdot 3 \cdot 8\pi + 2\pi}{3} + i \sin \frac{2 \cdot 3 \cdot 8\pi + 2\pi}{3} \\ &= \cos \left(8 \cdot 2\pi + \frac{2}{3} \pi \right) + i \sin \left(8 \cdot 2\pi + \frac{2}{3} \pi \right) \\ &= \cos \frac{2}{3} \pi + i \sin \frac{2}{3} \pi \\ &= -\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i\end{aligned}$$

補足

実数と純虚数は全く異なる世界の数字ですから、
それらを同一の数直線上で表すことができません。
そこで、複素数を表す場合、数直線ではなく、
横軸を実軸、縦軸を虚軸とする座標平面（「複素平面」といいます）を用います。
たとえば、複素数が $z = a + bi$ ならば、それを表す座標は (a, b) です。
これを点 Z とすると、 Z と原点 O の距離、

すなわち z の絶対値は、 $|z| = |a + bi| = \sqrt{a^2 + b^2}$ ですから、

これを r とおき、 $|z| = r$ とします。

また、実軸（横軸）正の向きと \overrightarrow{OZ} のなす角（偏角）を θ とすると、
 $Z(a, b) = (r \cos \theta, r \sin \theta)$ より、

$z = a + bi = r(\cos \theta + i \sin \theta)$ となります。

これを 2 乗すると、

$$\begin{aligned} z^2 &= r^2 (\cos \theta + i \sin \theta)^2 \\ &= r^2 (\cos 2\theta + i \sin 2\theta) \\ &= r^2 \{ \cos(\theta + \theta) + i \sin(\theta + \theta) \} \end{aligned}$$

となり、点 Z は、 \overrightarrow{OZ} を角 θ だけ 1 次変換し、大きさを r 倍した点に移されます。

n 乗では、 $z^n = r^n (\cos n\theta + i \sin n\theta)$ となり、

点 Z は、この移動が $n-1$ 回繰り返された点に移されます。

発展：複素数のオイラー表示

$e^x = 1 + \frac{x}{1!} + \frac{x^2}{2!} + \frac{x^3}{3!} + \dots$ (e^x のマクローリン展開) に

$x = i\theta$ を代入すると、

$$\begin{aligned} e^{i\theta} &= 1 + i\theta - \frac{\theta^2}{2!} - \frac{i\theta^3}{3!} + \frac{\theta^4}{4!} + i\frac{\theta^5}{5!} - \dots \\ &= \left(1 - \frac{\theta^2}{2!} + \frac{\theta^4}{4!} - \dots \right) + i \left(\theta - \frac{\theta^3}{3!} + \frac{\theta^5}{5!} - \dots \right) \\ &= \cos \theta + i \sin \theta \end{aligned}$$

$$\left[\begin{array}{l} \sin \theta = \theta - \frac{\theta^3}{3!} + \frac{\theta^5}{5!} - \frac{\theta^7}{7!} + \dots \quad (\sin \theta \text{ のマクローリン展開}) \\ \cos \theta = 1 - \frac{\theta^2}{2!} + \frac{\theta^4}{4!} - \frac{\theta^6}{6!} + \dots \quad (\cos \theta \text{ のマクローリン展開}) \end{array} \right]$$

$$\therefore e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$$

$$\therefore e^{in\theta} = (e^{i\theta})^n = \cos n\theta + i \sin n\theta$$